

専門総合特別講義Ⅲ

責任者名：飯沼 利光

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：演習

◆担当教員

飯沼 利光(歯科補綴学Ⅰ 教授)
中島 一郎(医療人間科学 教授)
野間 昇(口腔診断学 准教授)
澤田 久仁彦(歯科放射線学 専任講師)
小泉 寛恭(歯科理工学 准教授)
黒川 弘康(歯科保存学Ⅰ 准教授)
馬谷原 琴枝(歯科矯正学 准教授)
武井 浩樹(小児歯科学 助教)
篠崎 貴弘(口腔診断学 専任講師)
野川 博史(歯科補綴学Ⅲ 助教)
羽鳥 啓介(歯科保存学Ⅱ 助教)
大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
西田 哲也(歯科保存学Ⅲ 専任講師)
内田 靖紀(歯科矯正学 助教)
雨宮 俊彦(歯科放射線学 助教)
白土 博司(口腔外科学Ⅱ 助教)
玉川 崇皓(口腔外科学Ⅱ 助教)
北山 稔恭(歯科麻酔学 助教)
篠塚 啓二(口腔外科学Ⅰ 助教)
萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅲ 准教授)
吉沼 直人(歯科保存学Ⅲ 准教授)
安川 拓也(歯科保存学Ⅱ 助教)

◆一般目標 (GIO)

臨床実習前に必要な診断・治療行為の基礎事項を学び、スチューデントドクターとして必要な基本的態度および技能を理解する。

【インプラント】

- ・ 歯科インプラント治療に関わる検査・診断，治療計画を理解する。
- ・ 歯科インプラント治療に関連した解剖学，骨代謝，病理学および歯科理工学を理解する。
- ・ 歯科インプラント治療の基本概念から治療術式を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

【専門】

- ・ 適切な医療面接により，患者との良好な関係を構築し，必要に応じて患者教育を行う必要性を説明できる。

- ・全身状態の評価に基づいた口腔・顎顔面領域の診察に必要な知識や内容を列記できる。
- ・口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画立案の重要性を説明できる。
- ・患者中心の医療を目指したインフォームド・コンセントを実施できる。
- ・基本的な臨床手技について説明でき、適切な態度でこれを使用できる。

【インプラント】

- ・口腔インプラント治療概論を説明できる。
- ・口腔インプラント治療と解剖学の関連について説明できる。
- ・口腔インプラント治療に用いる材料について説明できる。
- ・口腔インプラント治療に必要な診査と検査を説明できる。
- ・全身状態と口腔インプラント治療について説明できる。
- ・口腔インプラント治療の治療計画を立案できる。
- ・口腔インプラント治療における画像診断について説明できる。
- ・口腔インプラント外科手術に必要な基礎的知識と術式を説明できる。
- ・口腔インプラント治療の補綴処置について説明できる。
- ・口腔インプラント周囲炎について説明できる。
- ・口腔インプラントと天然歯周組織の違いを説明できる。
- ・口腔インプラント治療におけるメンテナンスについて説明できる。
- ・口腔インプラント治療に関連した各種合併症について説明できる。

◆評価方法

【専門】

共用試験 OSCE の合格基準を 60%以上（小数点以下を切り捨て（第1位を四捨五入しない））とする。演習教科のため出席は前提である。遅刻、欠席（除く：忌引、公欠）はマイナス評価とし、欠席が多い場合は OSCE の受験を停止する。

本予備教育は診療参加型臨床実習に向けた基本事項を再確認するために行う。そのため、知識と技能の習得を確実にするよう心がけること。

【インプラント】

平常試験と適時課題を出すレポート等で総合的に評価する

第 24 回 平常試験：それぞれ学習項目に合わせて第 16～23 回に関する内容について試験を行う。

平常試験の解説 解説により授業内容の理解度の確認及び習熟を図る

12 月 5 日（土曜日）の 9 時から大学において第 16 回～第 28 回までの講義内容に関する平常試験を行う。

この試験はマークシートと筆記の併用とする。詳細については講義の適切な時期にアナウンスする。

第 30 回 平常試験：それぞれ学習項目に合わせて第 24～29 回に関する内容について試験を行う。

平常試験の解説 解説により授業内容の理解度の確認及び習熟を図る

◆オフィス・アワー

| | | | |
|------|-----------|-------------|----|
| 担当教員 | 対応時間・場所など | メールアドレス・連絡先 | 備考 |
|------|-----------|-------------|----|

| | | | |
|-------|------------------------------------|--|--|
| 飯沼 利光 | 木曜日 17:00～18:00 歯科補綴学第 I 講座医局 | iinuma.toshimitsu@nihon-u.ac.jp ・ 歯科補綴学第 I 講座医局 | |
| 萩原 芳幸 | 月曜日 17:00～18:00 歯科補綴学第 III 講座医局 | hagiwara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp | |

◆授業の方法

【専門】

日本大学歯学部附属歯科病院でスチューデントドクターとして臨床実習を行うために必要な知識・技能の確認を、各診療科ごとにスライドを交えた講義方式で行う。

さらに、附属歯科病院の設備および機材のオリエンテーションを兼ね、病院各フロアでの見学および体験実習を行う。

【実務経験】 オフィスアワー担当教員も務める飯沼利光は、日本大学歯学部附属歯科病院にて歯科臨床医として活躍しており、その臨床経験等の話も交えながら、本歯科病院での診療参加型臨床実習に円滑かつ有効に参加するためのポイントならびに心構えについて学ぶ場を提供したいと考えています。

【インプラント】

【実務経験】 萩原芳幸：在職中の日本大学歯学部附属歯科病院歯科インプラント科での日常臨床における経験と豊富な臨床例をもとに本教科で学ぶ内容の基礎から臨床応用まで、幅広く説明したいと思います。また、最近是国家試験にも出題されることを鑑み、その対策も兼ねて学ぶ場を提供したいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

| 種別 | 図書名 | 著者名 | 出版社名 | 発行年 |
|-----|-----------------------|------------------------------|-------|------|
| 教科書 | よくわかる口腔インプラント学 第3版 | 赤川安正，矢谷博 文，松浦正朗，渡邊 文彦編 | 医歯薬出版 | 2017 |

◆DP・CP

【専門】

[DP 3] コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP 6] コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンス：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

[CP 3] 幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP 6] 他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

【インプラント】

[DP3]コンピテンス：論理的・批判的思考力， コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に，論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP4]コンピテンス：問題発見・解決力， コンピテンシー：自ら問題を発見し，その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に，論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し，臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

[CP8]各学年における学修で得た歯科医学の知識，技術および省察力をもとに，歯科医師として生涯にわたり学習する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

【専門】

教科書は指定しない。ただし第4学年までに使用した教科書・参考書を適宜使用し，自己学習を行うことで学習効果を高めることができる。

【インプラント】

内容が多岐にわたるので，教科書を読んで予習・復習を十分に行うこと。

◆準備学習時間

【専門】

それぞれの授業時間について、授業時間に相当する時間をそれぞれ予習ならびに復習時間として設け、予定表に記載された学習項目を該当教科で用いた教科書ならびに参考書，さらに配布されたプリントやノート等の資料を利用して理解力を深めること。

【インプラント】

それぞれの授業時間について、授業時間に相当する時間をそれぞれ予習ならびに復習時間として設け、予定表に記載された学習項目を教科書を用いて理解力を深めること。

◆全学年を通しての関連教科

【専門】

歯科医学序論Ⅰ（第1学年・前期）

保存修復学Ⅰ・Ⅱ（第3学年・前後期）

医療コミュニケーション（第3学年・後期）

咬合学概論（第3学年・後期）

小児の歯科診療の基礎（第3学年・後期）

歯内療法学（第4学年・前期）

歯科放射線学各論（第4学年・前期）
 口腔外科手術時の患者管理（第4学年・前期）
 医療面接（第4学年・前期）
 歯周病学（第4学年・前期）
 歯科矯正学（第4学年・前期）
 顎機能治療学（第4学年・前期）
 口腔診断学・有病者歯科学（第4学年・後期）
 歯冠補綴学（第3学年・後期）
 架橋義歯補綴学（第4学年・前期）
 部分床義歯補綴学Ⅰ・Ⅱ（第4学年・前後期）
 総義歯補綴学Ⅰ・Ⅱ（第4学年・前後期）
 歯科麻酔学各論（第4学年・前期）
 臨床実習（第5学年・前後期）ほか

【インプラント】

臨床口腔病理 3年後期
 臨床推論の構築 5年後期
 口腔インプラント学 6年前期
 臨床実習アドバンスト 6年前期

◆予定表

| 回 | クラス | 月日 | 時間 | 学習項目 | 学修到達目標 | 担当 | コアカリキュラム |
|---|-----|------|----|-----------------------------|--|----------------|-----------------------------------|
| 1 | | 9.11 | 7 | 診療参加型実習の予備教育概略の説明および心構えについて | <ul style="list-style-type: none"> ・診療参加型実習に参加するために必要な知識の習得と、心構えについて理解できる。 ・医療スタッフとしての服装、身だしなみや正しい言葉づかいを説明できる。 ・医療安全、感染予防など病院診療に伴う危機管理の重要性およびその対応について説明できる。 | 飯沼 利光 中島 一郎 | A-4-1) コミュニケーション |
| 2 | | 9.18 | 7 | 初診時医療面接 基本的診察および検査能力（Ⅰ） | <ul style="list-style-type: none"> ・急性症状を示す初診患者への医療面接の対応を具体的に述べることができる。 ・慢性症状を示す初診患者への医療面接の対応を擬態的に述べることができる。 ・患者の口腔内状態の記録方法を理解し、その項目を列挙できる。 ・頭頸部の診察方法について説明で | 野間 昇 | A-4-1) コミュニケーション A-3 診療技能と患者ケア |

| | | | | | | | |
|---|--|-------|---|---------------------------------|---|----------------|---------------|
| | | | | | きる。 | | |
| 3 | | 9.25 | 7 | 基本的診察および検査能力（Ⅱ）と説明・指導（Ⅰ） | <ul style="list-style-type: none"> ・エックス線写真を適切に取り扱い、正しく読影できる。 ・エックス線撮影の必要性やその特性について説明できる。 | 澤田 久仁彦 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 4 | | 10.2 | 7 | 基本的技能（Ⅰ）と基本的臨床技能（Ⅰ） | <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの重要性とその正しい方法を理解し、清潔に配慮した滅菌グローブの装着ができる。 ・浸潤麻酔の正しい手技を説明できる。 ・普通抜歯を行うための知識を理解し、具体的な手技を説明できる。 ・縫合に対する知識とその手技を正しく説明できる。 | 篠塚 啓二 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 5 | | 10.16 | 7 | 基本的技能（Ⅲ）と説明・指導（Ⅱ） 基本的臨床技能（Ⅱ） | <ul style="list-style-type: none"> ・概形印象採得の基本的手技を説明できる。 ・欠損補綴の必要性を理解し、その治療方針について説明できる。 ・支台歯形成に関する正しい知識と基本的な手技を説明できる。 ・テンポラリークラウン製作の手技について具体的に述べることができる。 | 飯沼 利光 小泉 寛恭 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 6 | | 10.23 | 7 | 基本的技能（Ⅳ）と基本的臨床技能（Ⅲ） | <ul style="list-style-type: none"> ・ラバーダム防湿について基本的な手技を具体的に述べることができる。 ・根管治療への正しい知識と基本的な手技を説明できる。 | 羽鳥 啓介 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 7 | | 10.30 | 7 | 説明・指導（Ⅲ）と基本的臨床技能（Ⅳ） | <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病の病状についての正しい知識を理解し、その病状の説明できる。 ・正しいブラッシング指導方法について説明できる。 ・スケーリング・ルートプレーニン | 吉沼 直人 | A-3 診療技能と患者ケア |

| | | | | | | | |
|----|--|-------|---|--------------------------|--|-----------------|---------------|
| | | | | | グについて基本的手技について具体的に述べることができる。 | | |
| 8 | | 11.6 | 7 | 基本的診察および検査能力（Ⅲ）と基本的技能（Ⅱ） | <ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインについて正しい測定方法を説明できる。 ・心肺蘇生に対する知識を学び、その手技を説明できる。 | 北山 稔恭 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 9 | | 11.13 | 7 | 基本的臨床技能（Ⅴ） | <ul style="list-style-type: none"> ・う蝕象牙質の除去の基本的手技を具体的に述べることができる。 ・修復用隔壁の装着法についての基本的手技を具体的に述べることができる。 ・レジン充填についての基本的手技を説明できる。 | 黒川 弘康 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 10 | | 11.20 | 7 | 説明・指導（Ⅴ）と基本的臨床技能（Ⅵ） | <ul style="list-style-type: none"> ・矯正装置についてその内容を理解し、その内容を保護者等に正しく説明できる。 ・保隙装置についてその内容を理解し、その内容を保護者等に正しく説明できる。 ・保護者へのブラッシング指導について具体的に述べることができる。 ・フッ化物塗布について基本的手技について説明できる。 ・予防填塞について基本的手技について具体的に述べることができる。 | 馬谷原 琴枝 武井 浩樹 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 11 | | 11.27 | 7 | 診療参加型実習開始に備えて（Ⅰ） | <ul style="list-style-type: none"> ・各フロア（1階～4階）診療室内のユニット等の機材および設備を正しく説明できる。 ・各フロアの構造ならびに機材等の使用方法について説明できる。 | 飯沼 利光 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 12 | | 12.4 | 7 | 診療参加型実習開始に備えて（Ⅱ） | <ul style="list-style-type: none"> ・各フロア（1階～4階）診療室内のユニット等の機材および設備の使用方法を具体的に述べることができ | 各フロア担当 | A-3 診療技能と患者ケア |

| | | | | | | | |
|----|--|-------|---|----------------------------|---|--------|--|
| | | | | | る。 ・各フロアの構造ならび特徴について具体的に述べることができる。 | | |
| 13 | | 12.11 | 7 | 診療参加型実習開始に備えて (Ⅲ) | ・各フロア (1階～4階) 診療室内のユニット等の機材および設備の使用方法を具体的に述べることができる。 ・各フロアの構造ならび特徴について具体的に述べることができる。 | 各フロア担当 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 14 | | 12.18 | 7 | 診療参加型実習開始に備えて (Ⅳ) | ・各フロア (1階～4階) 診療室内のユニット等の機材および設備の使用方法を具体的に述べることができる。 ・各フロアの構造ならび特徴について具体的に述べることができる。 | 各フロア担当 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 15 | | 12.25 | 7 | 診療参加型実習開始に備えて (Ⅴ) | ・各フロア (1階～4階) 診療室内のユニット等の機材および設備の使用方法を具体的に述べることができる。 ・各フロアの構造ならび特徴について具体的に述べることができる。 | 各フロア担当 | A-3 診療技能と患者ケア |
| 16 | | 9.11 | 4 | 1. 口腔インプラント学総論 (教) pp.1-22 | ・口腔インプラントの概要, 歴史, 種類を説明できる。 ・臨床例から治療の流れを理解できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3) ① デンタルインプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる E-3-4)-(3) ② デンタルインプラントの適応症と合併症を説明できる。 |

| | | | | | | | |
|----|--|------|---|---|---|-------|--|
| 17 | | 9.18 | 4 | 2. インプラントのための基礎科学 1)インプラントの材料と生体適合性 (教) pp.49-63 | <ul style="list-style-type: none"> ・生体材料の概念を説明できる。 ・インプラントに使用される材料の種類と特性について説明できる。 ・インプラント材料の硬組織適合性を説明できる。 | 萩原 芳幸 | D-2⑤インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 |
| 18 | | 9.25 | 4 | 2. インプラントのための基礎科学 2)インプラント治療に関連する解剖学 (教) pp.31-48 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯を喪失したときの上顎骨と下顎骨の構造変化について説明できる。 ・上顎骨と下顎骨に分布する血管と神経の走行について説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3)① デンタルインプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる C-3-4-(2)① 人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる |
| 19 | | 10.2 | 4 | 2. インプラントのための基礎科学 3)インプラント治療に必要な骨の知識 (教) pp.23-30 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯科インプラント治療に関連して、骨リモデリング(骨形成・骨吸収)を中心に骨代謝の基本事項を説明できる。 ・骨結合(オッセオインテグレーション)を説明できる。 | 萩原 芳幸 | C-3-4-(2)④ 骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。 C-3-4-(2)⑤ 硬組織の成分と石灰化の機序を説明できる。 |
| 20 | | 10.9 | 4 | 3. 検査・診断, 治療計画 基本検査項目と画像診断(1) (教) pp.67-97 | <ul style="list-style-type: none"> ・口腔インプラントにおける全身および局所的検査・診断項目を説明できる。 ・口腔インプラント治療の診断に用いる画像診断方法を説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3)③ デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。 |

| | | | | | | | |
|----|--|-------|---|--|---|-------|---|
| | | | | | | | E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 |
| 21 | | 10.16 | 4 | 3. 検査・診断, 治療計画 基本検査項目と画像診断(2) (教) pp.98-123 | <ul style="list-style-type: none"> ・画像診断を通して口腔インプラントに必要な臨床解剖を説明できる。 ・インプラントの基本的な治療計画が立案できる。 ・コンピュータシミュレーションを説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3) ③ デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。 E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 |
| 22 | | 10.23 | 4 | 4. 外科術式 1) 埋入手術 (教) pp.124-162 | <ul style="list-style-type: none"> ・インプラントの基本的な埋入術式とその注意点を説明できる。 ・外科手術を行う際の全身のおよび局所状態評価を説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 E-3-4)-(3) ⑤ 埋入手術方法を説明できる。 |
| 23 | | 10.30 | 4 | 4. 外科術式 2) その他の関連外科処置(1) (教) pp.124-162 | <ul style="list-style-type: none"> ・外科手術に用いる器具の種類、基本的な使用法を説明できる。 ・上顎洞底挙上術、各種骨移植、仮骨延長術などのインプラント関連外科処置を説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 E-3-4)-(3) ⑤ 埋入手術方法を説明できる。 |
| 24 | | 11.6 | 4 | 4. 外科術式 | <ul style="list-style-type: none"> ・二次手術、軟組織のマネージメン | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3) ④ |

| | | | | | | | |
|----|--|-------|---|--|---|-------|--|
| | | | | 2)その他の関連外科処置(2) (教) pp.124-162 第1回平常試験と平常試験の解説 | トについて説明できる。 ・外科的合併症・偶発症を説明できる。 ・(第16回～第23回)の範囲でマークシート形式試験を行い、理解度を確認する。 ・解説により授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。 | | デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 E-3-4)-(3)⑤ 埋入手術方法を説明できる。 |
| 25 | | 11.13 | 4 | 5. 補綴処置(1) (教) pp.163-245 | ・インプラント補綴の種類を説明できる。 ・インプラント補綴基本術式を説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3)⑥ デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 E-3-4)-(3)⑦ デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 |
| 26 | | 11.20 | 4 | 5. 補綴処置(2) (教) pp.163-245 | ・印象方法・咬合採得方法を説明できる。 ・固定式補綴装置の基本的作製方法が説明できる。 ・固定式補綴装置の装着方法を説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3)⑥ デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 E-3-4)-(3)⑦ デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 |
| 27 | | 11.27 | 4 | 5. 補綴処置(3) (教) pp.163-245 | ・可撤式補綴装置のアタッチメントについて説明できる。 ・可撤式補綴装置の基本的作製方法 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3)⑥ デンタルインプラントの上 |

| | | | | | | | |
|----|--|-------|---|--|--|-------|--|
| | | | | | を説明できる。 | | 部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 E-3-4)-(3) ⑦ デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 |
| 28 | | 12.4 | 4 | 5. 補綴処置(4) (教) pp.163-245 | ・補綴学的合併症とその対処法を説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3) ⑥ デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 E-3-4)-(3) ⑦ デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 |
| 29 | | 12.11 | 4 | 6. リコールとメンテナンス(1) (教) pp.251-261 | ・長期にわたってインプラント治療を成功させるための要件を説明できる。 ・メンテナンスの方法と重要性を説明できる。 ・メンテナンスに使用する器機を説明できる。 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3) ⑧ メンテナンスの重要性を説明できる。 |
| 30 | | 12.18 | 4 | 6. リコールとメンテナンス(2) (教) pp.262-295 第2回平常試験と平常試験の解説 | ・各種合併症やトラブルの種類と原因、対処法を説明できる。 ・インプラント周囲炎に対する理解を深め、その対処方法を説明できる。 ・(第24回～第29回)の範囲でマークシート形式試験を行い、理解度 | 萩原 芳幸 | E-3-4)-(3) ⑧ メンテナンスの重要性を説明できる。 |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|-------------------------------------|--|--|
| | | | | | を確認する。 ・解説により授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。 | | |
|--|--|--|--|--|-------------------------------------|--|--|

担当グループ一覧表

| グループ名 | 教員コード | 教員名 |
|--------|-------|-------|
| 各フロア担当 | 1169 | 西田 哲也 |
| | 1195 | 大谷 賢二 |
| | 1255 | 篠崎 貴弘 |
| | 1367 | 内田 靖紀 |
| | 2422 | 白土 博司 |
| | 2704 | 野川 博史 |
| | 2851 | 玉川 崇皓 |
| | 2937 | 雨宮 俊彦 |
| | 2968 | 安川 拓也 |

